

## 審査結果報告書

平成26年2月4日

主査氏名

増田 卓



副査氏名

鈴木 誠



副査氏名

鎌田 貢寿



副査氏名

東條 美奈子



1. 申請者氏名 : DM11028 松沢 良太

2. 論文テーマ :

維持血液透析患者の身体活動量と生命予後の関係

3. 論文審査結果 :

血液透析患者における身体活動量の低下は、患者の生命予後を悪化させることが知られている。従来報告では、血液透析患者の身体活動量の評価を簡易的な問診や調査票を用いて行っていたため、結果の客観性が乏しく、身体活動量を正確に評価できていないという問題点が存在していた。松沢良太君の研究は、血液透析患者の身体活動量を加速度計付き歩数計を用いて客観的・定量的に評価したうえで、その身体活動量と生命予後との関係を検討している。さらに、血液透析患者の背景因子を詳細に分析し、血液透析患者の身体活動量を低下させる要因についても検討を行っている。その結果、年齢、栄養状態および合併症の重症度といった患者背景を考慮しても、血液透析患者の身体活動量の低下は生命予後の悪化と有意に関連していることが明らかとなり、さらに血液透析患者の身体活動量の低下には、歩行能力の低下が関与していることが明確に示された。

本研究は血液透析患者を対象に、身体活動量と生命予後との関連を従来の主観的な評価方法ではなく客観的に評価し、信頼性の高い結果を提示した点で、世界で初めての報告と考えられる。また、血液透析患者の身体活動量を管理し効果的な介入を実践するうえで、必要な身体活動量の規定要因についても言及しており、極めて臨床的意義が高い研究と考えられる。

本研究は、血液透析患者の運動指導が生命予後の改善に繋がることを示唆した点で、また血液透析患者の運動指導に対し一指針を示した点で、大変優れた研究といえる。今後の更なる発展が望める研究であることから、博士課程の学位論文として相応しいものであり、医学博士の学位を授与するに値すると判断した。